

日本共産党 西宮市会報告

2014年7月 NO.97

発行/日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号 (西宮市役所内)
Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
ホームページ http://nishinomiya.jcp giin.net/

「アサヒ跡地購入を市長に求める決議」採択

今村市長のアサヒ工場跡地計画は「白紙撤回」との方針に対し、市議会は「アサヒ跡地購入を市長に求める決議」及び「議会審議を求める決議」を、日本共産党市議団5名を含む33名の議員が連名で提案、採択しました。

そもそも10haものアサヒ跡地活用については議会で論議を重ね、今年3月議会、市が3.8haの用地を約69億円で購入する予算を圧倒的多数で可決していました。

西宮市民の将来のために確かな選択を！

日本共産党市議団は、①市の中心部に位置する広大な土地を廉価(1㎡あたり18万1000円)で買い取れる ②老朽化や耐震性の低い中央病院や西宮消防署等の公共施設を移転新築し、市民の命を守る防災拠点を整備できる ③市が土地を取得することで、残地の民間開発も、良好なまちづくりに誘導できると、討論で明らかにしました。

さらに、土地取得の期限が7月末になっていることから、市議会は臨時議会開催を求めるとともに、議会にアサヒビル跡地問題特別委員会を設け、議論を始めています。

今村市長は、アサヒ跡地すべてを民間開発に委ねる方針を示していますが、そうなれば無秩序な開発に有効な歯止めがかからなくなってしまいます。

西宮市の将来を考えたとき、市の中心部に市民のための施設が整備されることが必要ではないでしょうか。

文教住宅都市にふさわしいまちづくりを!



今議会、今村新市長が所信表明を行い、各派の代表質問ではアサヒ跡地活用や中央病院問題に議論が集中しました。また、市長は「文教住宅都市にふさわしいまちづくり」や「住民の福祉の増進」と述べる一方で、学校給食や保育所等の民営化検討に言及。今後の市政運営に厳しい監視が必要です。

アサヒビル跡地について今村市長は所信表明で、「公共施設の移転整備を目的とした土地取得は白紙撤回」「民間の資金とアイデアで開発を進める」と述べ、開発の主体となるアーク不動産には「周辺地域と調和した良好なまちづくりを要望する」「そのためにガイドラインを策定し、第三者へ売却後も有効に継承されるルールを作る」と市の関与を主張しました。

また中央病院について、市長は、「県立病院と統合し600床の基幹病院とすることが最も効率的で効果的」としましたが、県は統合には消極的であり、見通しはまったくたっていない。また、良好なまちづくりの根拠にはならない」と厳しく批判しました。

保育所保育料の引き下げ

2015年度実施へ!

住宅環境を守るための『まちづくり基本条例』をただちに制定すべきとの立場から質問。これは市長が選挙公約に掲げているもので。市長は、「住宅開発に対しての基本的な対応は規制強化ではない」と公約をたなあげした答弁。これで文教住宅都市にふさわしいまちづくりができるでしょうか。

「保育料は他市と比較しても高水準にあり、2015年度からの引き下げに向けて検討する」と明確に答弁しました。



ご相談はお気軽に

市会議員 まつお正秀
市会議員 野口あけみ
市会議員 上田さちこ
市会議員 佐藤みち子
市会議員 杉山たかのり

議員団控室 TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815

最後に佐藤議員は、高過ぎる保育所保育料の引き下げを求めました。市長は



JR甲子園口駅北側整備 土地取得を早く



野口あけみ議員

く、一刻も早く、土地取得に動へべきではないか。その際、公共事業用土地を先行取得する土地開発

公社を活用してはどうか」と、質問。

市は、「市内でも有数の交通安全面での課題を有する地区」「ご指摘の対応も選択肢の一つ。財源確保も念頭に置き事業化に向け取り組みたい」と答弁しました。

「学童」と「子ども教室」はそれぞれ充実を

市長は所信表明の中で、「留守家庭児童育成センター（学童保育）」と「放課後子ども教室」を、それぞれの役割を活かして運営を一体化する」と述べました。

希望するすべての子どもを対象にした事業で、西宮では地区青愛協が月2、3回、宿題や遊びを見守る等しています。

対象と役割の違う事業を「効率」のために一体化することには無理がある」と指摘。また、放課後を豊かにするためには、子ども教室と学童保育、そ

れぞれの充実をめざし、特に学童では、法改正で対象となり、希望も多い4年生以上の受け入れを行うべきと、強く求めました。

JR甲子園口駅北側は駅前広場が狭く、車両や歩行者が錯綜し、大変危険な状況です。野口あけみ議員は2011年9月議会に続き一般質問で取り上げ、「同地は駅前広場として課題があるにとどまらず、交通安全面でも市内で最も危険な場所だ」「課題解決には広場の拡張しかな



学童保育は、「保護者が昼間家庭にいない児童のための生活の場」です。一方で「子ども教室」は

UR借上げ住宅問題

新市長の「新たな方針検討」は真剣ではなかった？

継続入居へ



まつお正秀議員

まつお正秀議員は、UR借り上げ市営住宅問題で質問。先日の市長選挙では、西宮借り上げ住宅連絡会より候補者に公開質問書が出され、今村市長は、URと買い取り交

渉を行う等の新たな方針を検討すると回答していました。まつお議員は、買い取りに向けてURと真剣な交渉を行ったのかと追及しましたが、交渉はわずか30分以内で、URが提示した額が市長の意向と差がありすぎたとしてあっさり断念したことが明らかにしました。

まつお議員は、「県がさらに継続入居の基準を緩和しているのに市は継

旧式の空調機設置校も整備の対象にせよ

続いてまつお議員は、現在、小中学校で進められているエアコン整備について質問。20、30年前に航空機などの騒音対策で空調機が設置された学

校は、今回のエアコン整備の対象になっていないことを示し、全校一括冷房のため熱源機からの距離によって教室間で冷え具合に大きな格差があり、



新しい委員会担当などが決まりました。



団長 建設常任副委員長

杉山たかのり



幹事長 市民文教常任委員 議会運営委員/農業委員

佐藤 みち子



総務常任委員 アサヒビル跡地問題 特別委員/都市計画委員

上田 さち子



厚生常任委員 議会改革特別委員 社会福祉審議会委員

野口 あけみ



総務常任委員長

まつお 正秀